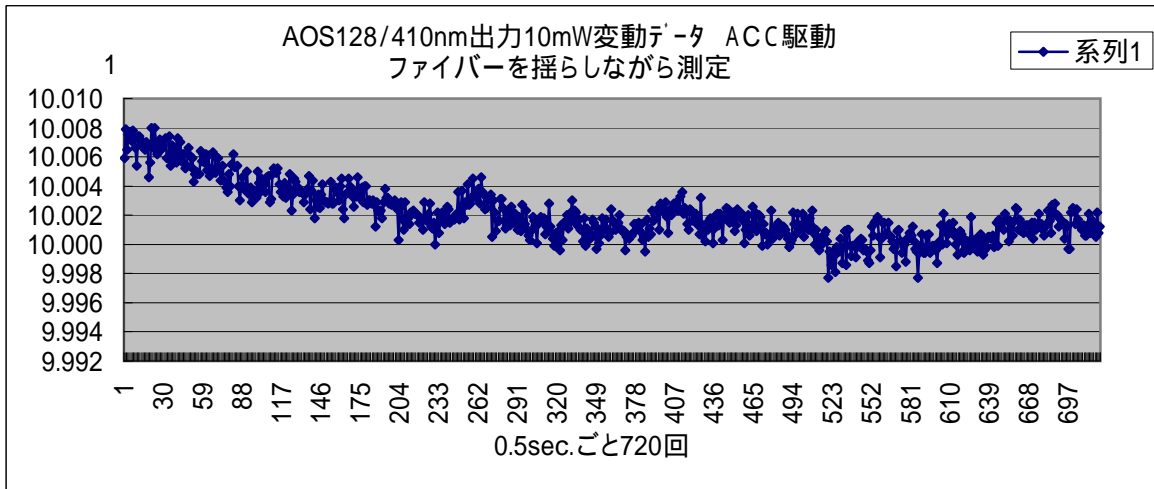


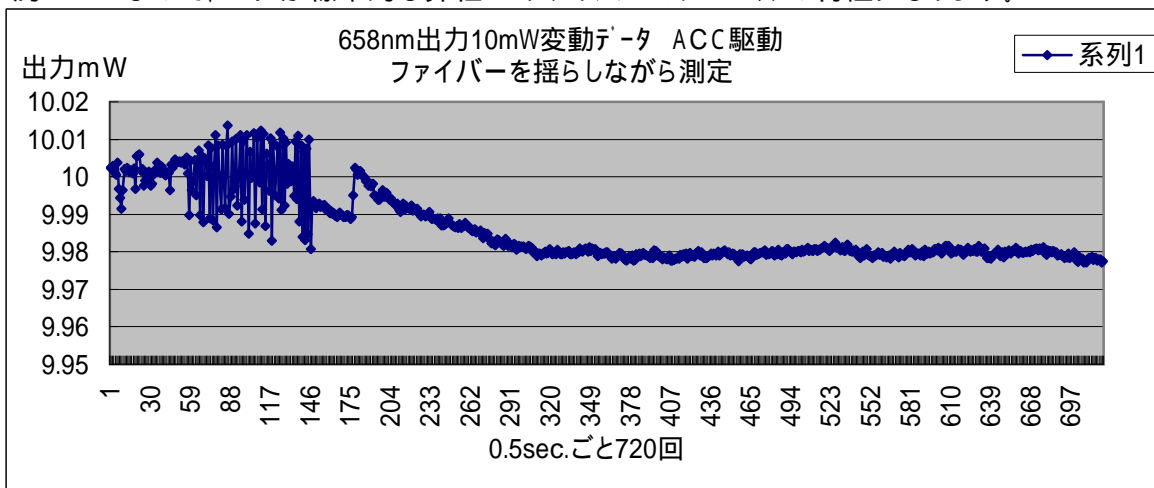
## LDユニット(LDファイバーモジュール)のファイバーを揺らしたときの安定性測定

ファイバーを30cm程度上下に往復1秒程度の速さで揺らしたものです。

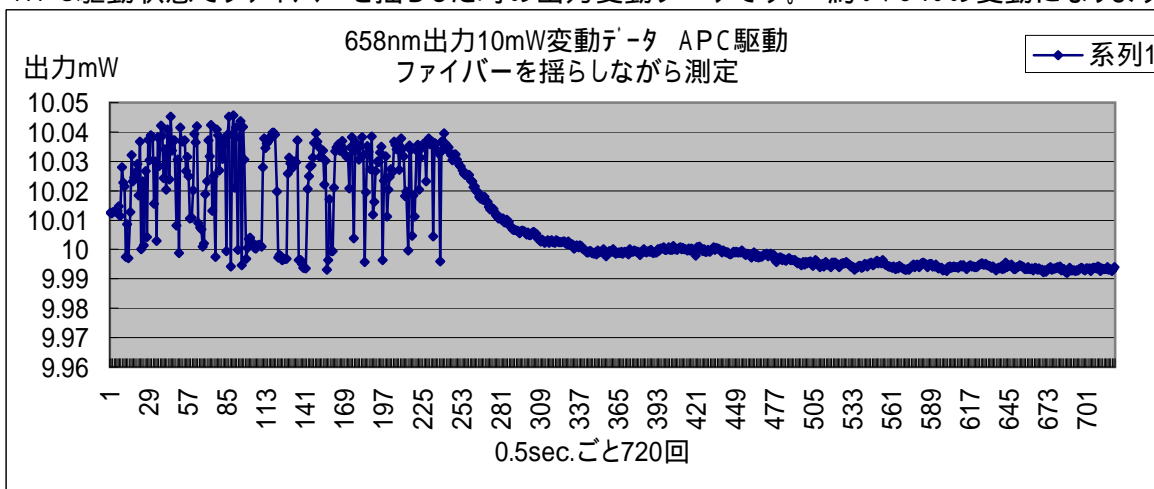
410nmのゆっくりした出力の低下は温度変化によるものです。ファイバーを揺らしてもまったく変動は見られませんでした。たまたま消光比24dBという高い消光比のせいと思われる。



大きく変動しているのはファイバーを揺らしているときの変動です。それでも0.3%の変動です。消光比が概ね20dBなので、それが原因だと思われます。通常、PMFからの出力は消光比は約20dBなので、これが標準的な弊社LDファイバーモジュールの特性になります。



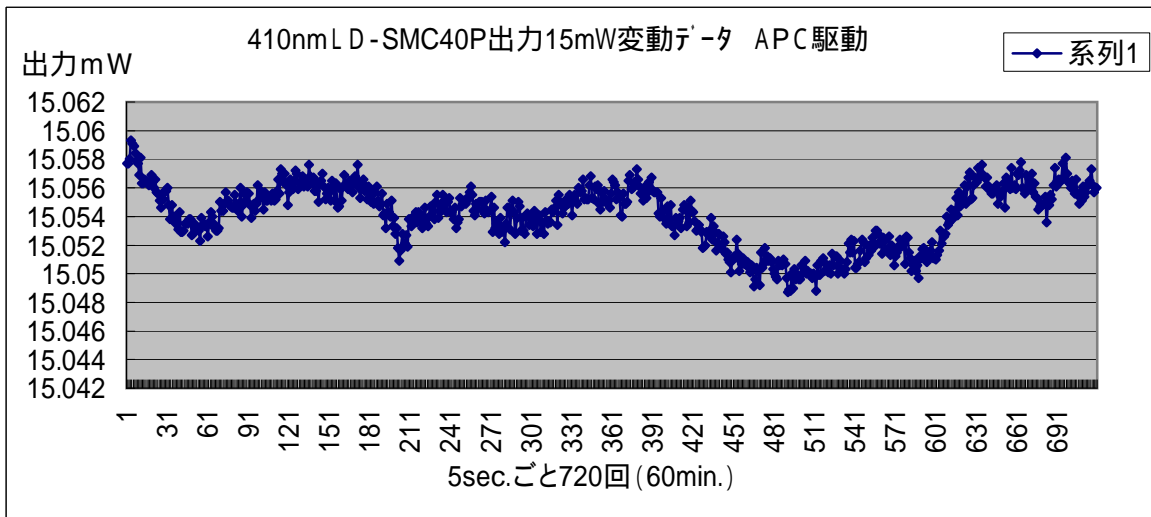
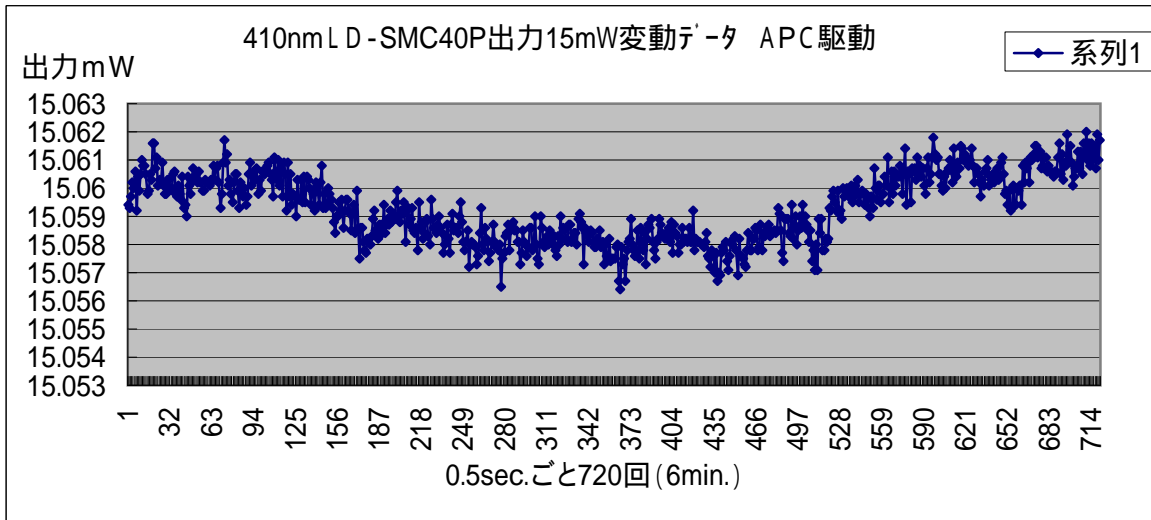
APC駆動状態でファイバーを揺らした時の出力変動データです。約0.5%の変動になります。



# AOS128 - 405nm LDユニット出力安定度試験データ

駆動電流値74mA 出力15mW ペルチェ温度設定25 室温の状態測定

出力変動0.1%以下になっています。



## 波長スペクトル・データ例

